

平成 30 年度 大阪府立港南造形高等学校 第 3 回 学校運営協議会 議事録

日 時 平成 31 年 3 月 19 日 (火) 15:00～16:30

場 所 本校 本館 1 階 ガイダンスルーム

委 員 美濃 幸男 大阪樟蔭女子大学 参与 ※敬称略
渡邊 美香 大阪教育大学 准教授
宮原 康 近畿大学 非常勤講師
本田 妙子 大阪市教育センター 総括指導主事
竹林 佳子 南港東第 3 振興町会 会長
森川 雅子 大阪府立港南造形高等学校 P T A 役員

事 務 局 校長、教頭、事務長、首席、総務部長、教務部長、生徒指導部長、進路指導部長、保健部長、造形科長、第 1 学年主任、第 2 学年主任、第 3 学年主任、生徒会主任

議 事 1 開会の挨拶 (校長)

2 委員紹介 (教頭)

3 資料説明 (教頭)

4 報告

(1) 平成 30 年度「学校経営計画及び学校評価」の報告・承認 (校長)
平成 31 年度「学校経営計画及び学校評価」の提案・承認 (校長)

(2) 各部・科より報告

①総務部より

学校広報活動について

- 1 学校説明会は 3 回実施、個別説明会 10 回実施、校外での説明会は 11 回参加。
- 2 学校ホームページへのアクセスが増加した。
- 3 新 1 年生からタブレットを全員が購入し、ポートフォリオの作成や e-Portfolio 入試へ対応していく。

②教務部より

今年度は、地震・台風等の災害による休校 (休業) が 7 日あった。土曜日等に振替授業を実施し、生徒・教員が協力して乗り越えることができた。

来年度から、3 年生の授業で「数学」を増やす、カリキュラム変更を行った。

③生徒指導部より

今年度は、昨年度より遅刻が増加傾向であった。地震・台風等の災害の影響が多かったためと考えられる。次年度も、丁寧な指導を続けていく。

④進路指導部より

3年生（14期生）の進路結果、国公立大学は、東京藝術大学1名、京都市立芸術大学3名、大阪教育大学2名をはじめ2年連続して10名を超えた。東京藝術大学も昨年度に続き2年連続で現役合格となり、今年度は、最難関と言われている絵画科（油画）に合格した。私学では、関東の東京造形大、女子美術大、関西では、全ての美術大学に多数の生徒が合格・進学することとなった。

就職希望者も、全員が内定を得ている。

⑤保健部より

来年度より、生徒用として、災害に向けた2日間程度の備蓄をしていく。これまで2段積みしていた「生徒ロッカー」を1段とし、その上に災害用備蓄品を置く予定。

⑥生徒会より

- ・募金活動、校外の清掃、献血広報等のボランティア活動を実施した。
- ・「南港保育園」との交流に30名の生徒が参加した。
- ・「住之江区14地域のポスター」を、住之江区・(株)電通の協働・支援を得て作成した。
- ・「住之江アートビート2018」に60名以上の生徒が参画し、大規模な作品発表となった。来場者も多数であった。

⑦造形科より

1月の「芸文祭」に多くの生徒が入選した。「芸文大賞」も本校生が受賞。

2月の「港南展（卒業制作展）」は、会場をATC内「大阪デザイン振興プラザ」に変更となり、心配されたが結果は予想をはるかに超える来場者により大成功であった。

⑧第1学年より

年度末、欠点保有者がほとんどいなかった。国語・英語の小テスト優秀者を表彰する。

⑨第2学年より

新たに第3学年となるので、希望の進路実現に向け、着実な取組みを進める。

⑩第3学年より

1月23日に卒業制作の全体プレゼンテーションを行った。各分野から25名の代表者が成果を発表した。

進路結果は、進路指導部からの報告のとおり。

⑪学力向上委員会より

今年度より実力テストをスタディサポートに変更した。

5 協議

(議長) 学校教育自己診断の結果と分析を見ても、立派な成果が残せていると思うが、このことも含めて、委員の皆さんから意見を頂戴したい。

Webで完成作品を発信するのではなく、制作過程の情報も発信してはどうか。

(委員) 学校の知名度を上げるためには、地道な広報活動が必要だと思う。卒業制作展の会場の1階でチラシを配っていたが、校名等がデザインされた袋、鞆（エコバックのようなもの）を作成してはどうか。（校名、キャラクター入り）

(委員) 住之江区との連携の中で、港南造形の制服・姿を見せることを続けており、保育園との交流等を続けていってほしい。身近なところで活動されている生徒の皆さんを見かけると嬉しい。生徒会主催の清掃活動を、地域と連携した清掃活動にして、一緒にできればと思う。

(委員) 卒業制作展を見せてもらったが、高校生が作ったとは思えないほど素晴らしい作品がたくさんあった。多くの来場者があったが、さらに多くの人に見ていただきたい。特に、立体作品は、会場で本物を見てほしい。

(委員) 卒業式の動画では、多様な個性を観た。また、プレスの力は大きいので、新聞・テレビ等の取材を受けることを、今後も続けていってほしい。

作品のプロセスを、Webで公開してみてもどうか。卒業制作展の「全体プレゼンテーション」もWebアップしてほしい。

タブレット導入・ICTの活用、外部講師招聘、地域連携等、高等学校に現在求められていることが全て進んでいる。

卒業生が戻ってくる学校、“循環する学校”を続けていく。つながりが強み。

災害対策も、学校の宣伝に使っていくとよいのでは。

6 閉会の挨拶（校長）

先程、ご意見いただいたエコバックについては、検討していきたい。清掃活動についても地域の皆さんと生徒で取り組んでいきたいので、協力をお願いします。

今後も、卒業生が戻ってくる学校、“循環する学校”を続けていきますので、次年度もご支援をお願いいたします。